



第四小だより

～学校教育目標～
よく考え学ぶ子
じょうぶで
たくましい子
心の豊かな子

新座市馬場3-6-1 TEL 048-478-3192
HP <https://e-daiyon-c-niiza.edumap.jp/>

令和6年度10月号
令和6年9月30日



学力・学習状況調査結果から

校長 梅田 竜平

先の懇談会では、ご多用のところご参加いただき、ありがとうございました。授業参観がなかったことが影響しているのか、参加率は48%でした。それでも複数の学級担任から、保護者の方同士の話し合いの場を設けたことで、活発な情報交換がなされたと聞いています。懇談会のもち方については、もう少し足を運んでいただける実施方法を考えていきたいと思えます。

さて、4月18日に実施した全国学力・学習状況調査（6年のみ）と、5月8日に行った埼玉県学力・学習状況調査（4～6年）の結果が届きましたので、お知らせします。本校の平均正答率（%）は以下の表のとおりです。

【全国学力・学習状況調査正答率（6年）】

国語	本校	56
	県	69
	国	67.7
算数	本校	53
	県	64
	国	63.4

【埼玉県学力・学習状況調査正答率】

教科	学年	4年	5年	6年
国語	本校	44.2	56.1	46.4
	県	51.9	56.9	56.7
算数	本校	57.5	53.9	41.6
	県	62.6	53.4	50.9

本校では、県調査の5年算数は県平均を上回りましたが、他の学年においては残念ながら県平均を下回りました。平均正答率

はあくまでも目安です。本校の児童は、学力の上位層と下位層は県と同レベルであるものの、中位層の児童の学力が県レベルに達していないことがわかりました。

県の調査の目的は、児童の学力がどれだけ定着しているかだけでなく、一人ひとりの学力が1年間でどれだけ伸びたかを見ることにあります。5・6年生においては、昨年度の調査から確実に伸びているのがわかりました。それだけに、個々の児童の伸びをどうすれば県レベルまで引き上げることができるのかを考えなければなりません。

学校では、多くの時間を学習に費やします。子供たちにとって学習が苦痛になっているようではいけません。夏季休業中、私共は本調査結果を基に、授業改善について協議をしました。全ての学習の源となる国語力、特に読み取る力の必要性を感じています。読む・書く力、そして粘り強く取り組む力が不可欠です。また、生活の中では想像力を働かせることが大切です。

お子様の個人結果票はご覧いただけましたでしょうか。ご家庭でもぜひ、お子様の1年間の頑張りを認めていただき、励ましていただけたら幸いです。

本校の校章にあるペンは、「学ぶことが大切であること」と「文化と平和を愛する心をもってほしいこと」を表しているそうです。子供たちには、安心して生活できる学校で、学ぶことの楽しさをうんと味わわせなければならないと強く感じています。